

京都から世界へ

各種占有情報

お問い合わせ

NEXT GENERATION  
GO TO THE WORLD

# スポーツ&ウェルネス新産業創出交流会

(第2回スポエル交流会)

@京都トレーニングセンター

2024.6.6  
京都府地域政策室

写真上) 京都トレーニングセンターホームページより引用  
写真下) 京都府ホームページより引用

# 本交流会の趣旨説明

スポーツや健康に関する社会課題解決に向けたアプローチについて、幅広く情報交換、意見交換を行う。

【キーワード】

スポーツ、ウェルネス、フードテック、  
オープンイノベーション、データベース

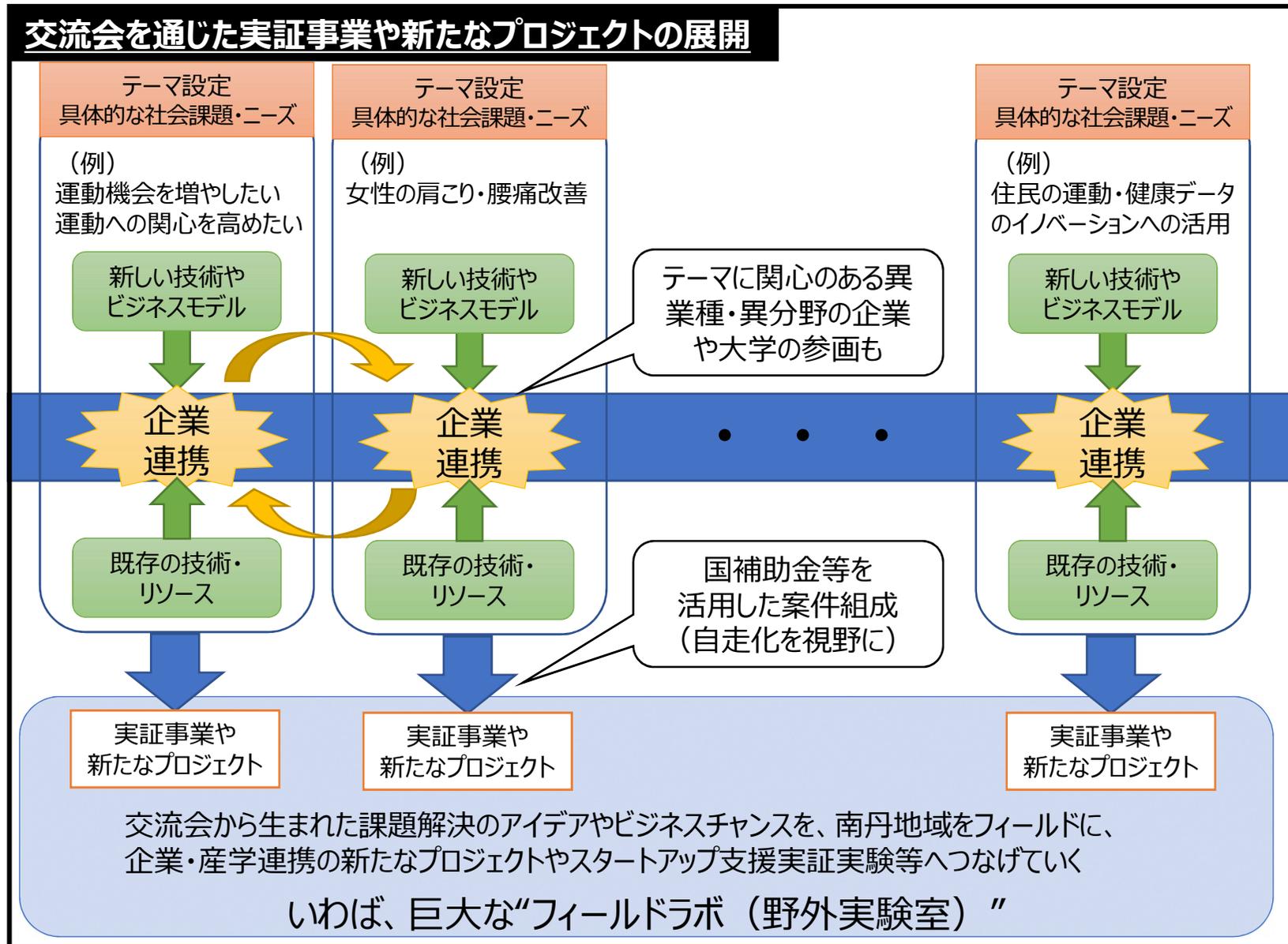
## 【目指すところ】

多様な視点からのディスカッションを通じ、

- 交流会から生まれた課題解決のアイデアやビジネスチャンスを
- 南丹地域をフィールドに
- 企業・産学連携の新たなプロジェクトやスタートアップ支援実証実験等へつなげていきたい

まずは、新たなプロジェクトの芽を見つけたい。

# 交流会の先に目指すもの：イノベーションのステップアップイメージ



南丹地域で、スポーツやウェルネス関連のイノベーションに取り組む府内外の幅広い企業同士が繋がり、プロジェクトを生み出していく場・仕組みづくり

# 第1回スポエル交流会

令和6年3月1日(金)  
 サンガスタジアム by KYOCERA VIP会議室

スポーツやウェルネス、「食」に携わる事業者や関心を持つ様々な事業者が参加(参加団体 15企業等)

- 大企業 : (株)アシックス、セントラルスポーツ(株)、(株)電通
- スタートアップ企業等 : Ghoonuts(株)、(株)グレースイメーシング、(一社)チームキノウ、(株)プロキダイ、ヨクト(株)
- 京都企業 : (株)鼓月、ジーク(株)
- 金融機関 : (株)京都銀行、(株)三菱UFJ銀行
- 南丹地域スポーツ拠点 : 京都トレーニングセンター、(同)ビバ&サンガ
- ワザバー : (公社)関西経済連合会
- 京都府 : 関係部局



交流会風景



名刺交換・情報交換会

team kinou

## 取組の可能性

### 地域住民が主役、「京都サンガマルシェ(仮)」の開催

- 地域の高齢者や、子ども(教育機関と連携)とWSで出店の企画立案
- マルシェで集客しつつ、ユニバーサルスポーツの運動体験機会を提供



### 地域連携 共創スポーツビジネス 事例(さいたまマラソン)

※1:さいたま市HP「さいたま市の人口・世帯1年別人口表(令和5年10月)」  
 ※2:令和5年度さいたま市スポーツ文化局運営方針

【ターゲット】

さいたま市 134万人  
 (86万人:15-64歳)※1

健康増進に取り組む人口  
 さいたま市スポーツ実施率  
 69.9%※2

2024さいたまマラソン  
 参加者 15000人



さいたま市

- ・健康増進に取り組む人を増やしたい
- ・365日市民のスポーツ実施に寄り添う枠組みを提供する



大会

- ・市民ランナーの大会としてリブランディング
- ・ランナーに寄り添ったランナーの満足度を高める大会運営
- ・さいたまマラソン参加者を増やす
- ・ランナーに寄り添い支えるトレーナーを増やす



GI

- ・ランナーのトレーニングにおけるニーズ・課題の把握
- ・ランナー向け汗乳酸測定サービスを構築、展開
- ・地域ぐるみで健康増進のための生体データの測定・分析



汗乳酸センサを使用し、自分にあったランニング適正速度を知る → 目標タイムの達成率、完走率がUP

11

いただいたご提案を基に、南丹地域をフィールドとした実証事業を展開

3

# 第1回スポエル交流会でいただいた主なご意見

## <オープンイノベーションの拠点としての機能について>

- ✓ まずは南丹地域内で学校での体力測定結果や健康診断、生活行動等のデータを収集したデータベースを構築し、それを各社の事業開発や社会課題解決に向けた取組に活かせるような仕組み・環境づくりを進めてはどうか。
- ✓ 企業間の協業を推進するためには、情報プラットフォームやデータを利活用するコミュニティづくりが必要

## <統合されたデータベースの構築・活用について>

- ✓ 社会課題の発見等に資するような製品やサービスの開発に向けては、最初にどのようなデータをどう使うかを設定する必要がある。
- ✓ 急に全てのデータを取得することは難しいため、幅広い活用の可能性を見据えつつ、まずは特定の目的を定めてデータとして取得するなど、段階的に様々なデータを追加で取得できるようにすることが重要
- ✓ 統合されたデータベースを作ることで、自社デバイスで測定可能なデータだけでなく、より幅広いデータが獲得可能となり、社会課題の発見や他企業との協業の可能性が見えてくる。
- ✓ 誰もが参加可能なユニバーサルスポーツの普及に向けては、社会の多様性が必要とされていることから、例えば引きこもり等データ収集が難しい方々もデータ収集の対象とすることに意義がある。

## <新しいビジネスの取組の開発について>

- ✓ 他企業との協業のもと、自社技術を用いた新しいビジネスを生み出すには、共通して取り組んでいける目標が必要
- ✓ 事業を通じて全国から収集したお客様の声などから、新たなニーズをくみ取り新サービスの開発に取り組んでいるが、新しいビジネスを生み出すには、そういった広くニーズを捉える仕組みづくりが必要
- ✓ 運動したくなる空間づくりに向けては、色味などの視覚情報や臭い、豪華さなどの空間演出が必要

## <他事業者との協業・連携、コミュニティづくりについて>

- ✓ コミュニティを継続させるためには、運営に地元を巻き込むなど、地域の協力が必要。また、幅広い対象を巻き込んでいくための動機付け、仕掛けを考える必要がある。
- ✓ 脳波を測定する自社技術を活かすには、実際にフィールドを持つ企業との連携が必要となっている。それぞれの得意分野を活かしつつ、足りない部分を相互補完していくところに協業の可能性がある。
- ✓ 各社の技術を最大限活用して、社会課題の解決を達成するためには、実施主体と各社の役割を明確にすることが重要

➤ 企業の有するセンシング技術や運動プログラム、イベント企画ノウハウを組み合わせた運動習慣を促す仕組みづくり

- ✓ 地域のマラソン大会等で、京都トレーニングセンターと企業、行政がタイアップし、アスリートの運動負荷や能力に応じた適正運動量などを評価するセンシング技術と京都トレーニングセンター等が有する運動プログラムのノウハウを組み合わせて、大会参加者が自己ベスト更新を目指すトレーニングプログラムを提供できないか。
- ✓ 長期的には、企業が有する運動や健康促進アプリとユニバーサルスポーツなど様々なスポーツイベントの企画ノウハウを組み合わせて、運動が苦手な方でも楽しみながら運動できる定期的なイベントや発信活動を通じて、運動の習慣化を促す仕組みを造成できないか。

➤ 女性や高齢者等の健康寿命延伸に向けた実証事業や新製品・サービスの開発

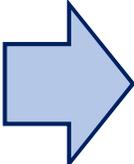
- ✓ 京都府の女性の肩こり・腰痛改善に向けた普段の生活の中で運動可能なトレーニングウェアなどの新製品・サービスの開発や、その普及に向けた実証試験を実施できないか。
- ✓ または、地域内の高齢者の健康づくりをサポートするとともに、高齢者のデータを取って転倒予防に繋がる歩き方や運動プログラム、それをサポートするオリジナルシューズ「森の京都スニーカー」の開発へ展開できないか。

➤ 企業と連携した運動や健康、生活データなどの統合データベースの構築と運用

- ✓ 以上の取組等で得られた運動や医療データなどに加え、南丹地域内で学校での体力測定結果や健康診断、生活行動等のデータを収集したデータベースを構築し、それを各社の事業開発や社会課題解決に向けた取組に活かせるような仕組み・環境づくり(コミュニティづくり)を進められないか。

➤ 南丹地域の農産物を活用した機能性食品の開発

➤ ワークেশョン・スポーツツーリズムを活かした新ビジネス等の創出を推進 など



スポーツ&ウェルネス（心と体の健康）、フードテック産業等をテーマに新産業創造に向け、産学公連携による多様な産業の集積を推進

# 参考

## クロス産業集積エリア創出

スポーツ×ウェルネス×食

府立丹波自然運動公園(京丹波町)



京都トレーニングセンター(京丹波町)

## スポーツ&ウェルネス実証と人材育成

- 府立丹波自然運動公園
- 京都トレーニングセンター
- 府立須知高校
- 京都先端科学大学
- 明治国際医療大学

## 都市生活と田園生活がそれぞれ味わえる生活圏の創造

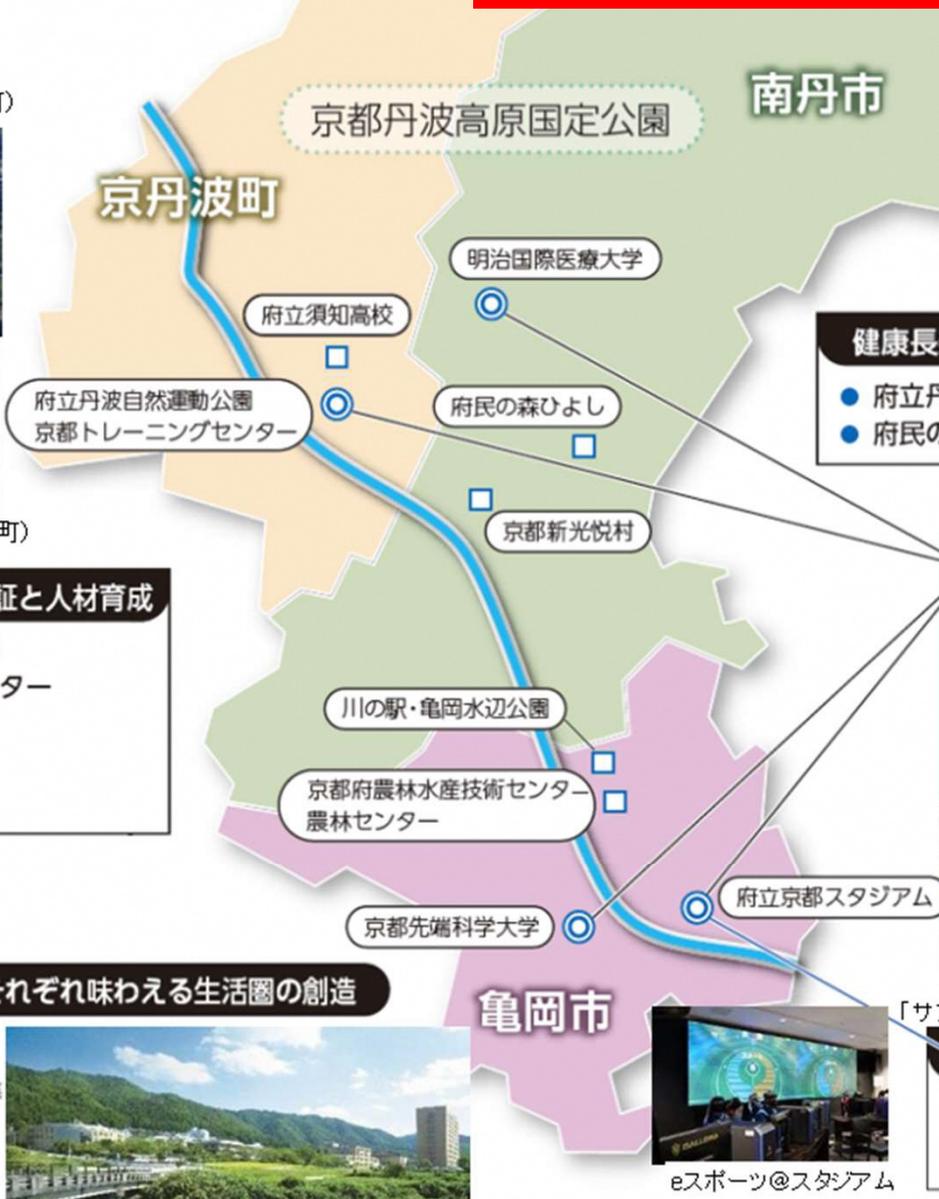
— 主な高速道路等

京都先端科学大学(亀岡市)



# 6

## 南丹地域スポーツ&ウェルネス&ニューライフ 広域連携プロジェクト



明治国際医療大学(南丹市)

## 健康長寿づくりの先進モデル地域づくり

- 府立丹波自然運動公園
- 府民の森ひよし

テーマ:ヘルス・スポーツ産業

## 産業創造リーディングゾーン

- 府立京都スタジアム
- 府立丹波自然運動公園
- 京都トレーニングセンター
- 京都先端科学大学
- 明治国際医療大学



府立京都スタジアム  
「サンガススタジアム by KYOCERA」(亀岡市)



フットサル  
スケートボード

## 中北部へのゲートウェイ機能

サッカー観戦を契機とした交流促進  
eスポーツの聖地化



eスポーツ@スタジアム

# 京都府からの話題提供

## 既存スポーツイベントの機会を活用した実証事業を検討中

### 実証フィールド候補：2024京都丹波ロードレース大会

- ・日時 2024年11月3日（日・祝）
- ・主催 京都府立丹波自然運動公園、京丹波町、京丹波町スポーツ協会、  
京都丹波ロードレース大会実行委員会
- ・コース 京都府立丹波自然運動公園発着コース
- ・種目/種別 ハーフマラソン、10kmロードレース、5kmロードレース、  
3kmロードレース、3kmファミリー
- ・「丹波公園まつり」同時開催

#### 【課題】

コロナ禍を経て、2022年に3年ぶりに開催したが、参加者数は2年連続でコロナ前を大きく下回っている。（2019年：約3,500人 → 2023年：約2,200人）

→ 集客を図り、大会を通じた参加者の健康増進に寄与していく必要

## 【企画案1】（運動関心層向け）

### 京都丹波ロードレース参加者対象「自己目標達成サポートプログラム」の提供

#### 【目的】

- ✓ コロナを機に、長距離走を“引退”してしまった方に復帰していただく動機づけをしたい。
- ✓ ロードレース大会のオプションサービスとして提供して、大会の価値を高めたい。

#### 【概要】

ランナーの自己目標（止まらず走り切る、自己ベスト更新等）達成を支援するサービス  
→ 「ランニングトレーニングプログラム」と「汗乳酸測定サービス」をセットで提供

#### ＜活用する（したい）技術・機能＞

- スポーツ医科学に基づくトレーニング指導 [京都トレーニングセンター]
- 汗乳酸測定技術（自分にとっての適正な走行速度を把握） [（株）グレースイメージング]
- 企業所属アスリートによるランニングのコーチング

#### 【効果検証課題】

- ✓ 本プログラムの提供が、ランナーの参加意欲の向上につながるものであったか
- ✓ 事業としての継続性（集客、採算）の見通しが立ちそうか etc..

# 【株式会社グレースイメージング】 自己ベスト更新特別サポートプログラム:実施イメージ



汗乳酸センサ

心拍センサ



RPE Rating of Perceived Exertion: 自覚的運動強度  
現在の体感疲労度を数字で答えてください  
Please answer the fatigue level you are feeling now.

RPE	疲労度	Fatigue Level
20		
19	非常にきつい	very very hard
18		
17	かなりきつい	very hard
16		
15	きつい	hard
14		
13	ややきつい	somewhat hard
12		
11	楽である	fairly light
10		
9	かなり楽である	very light
8		
7	非常に楽である	very very light
6		

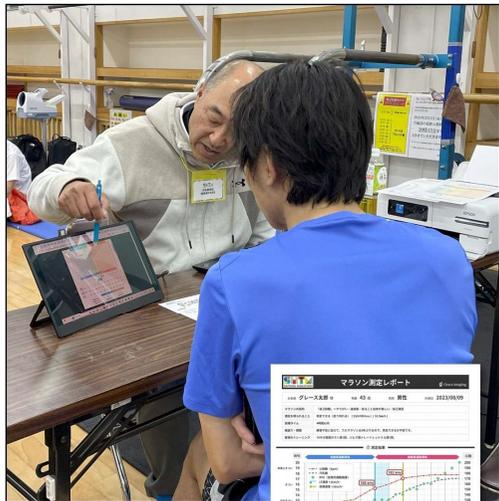
- ①センサを装着
- ②トレッドミル走行
- ③RPEを回答
- ④適正速度の分析
- ⑤結果レポート作成
- ⑤カウンセリング
- ⑥適正速度の体感 (約60分)

## 汗乳酸測定



測定アプリ

## 結果説明・カウンセリング



結果レポート

## 適正速度の体感



目標タイム達成へ向けた日々の  
トレーニングの見直しに!

写真:さいたまマラソン実証実験「汗乳酸測定によるマラソンカウンセリング」in 浦和駒場体育館(2023年12月・2024年3月実施)

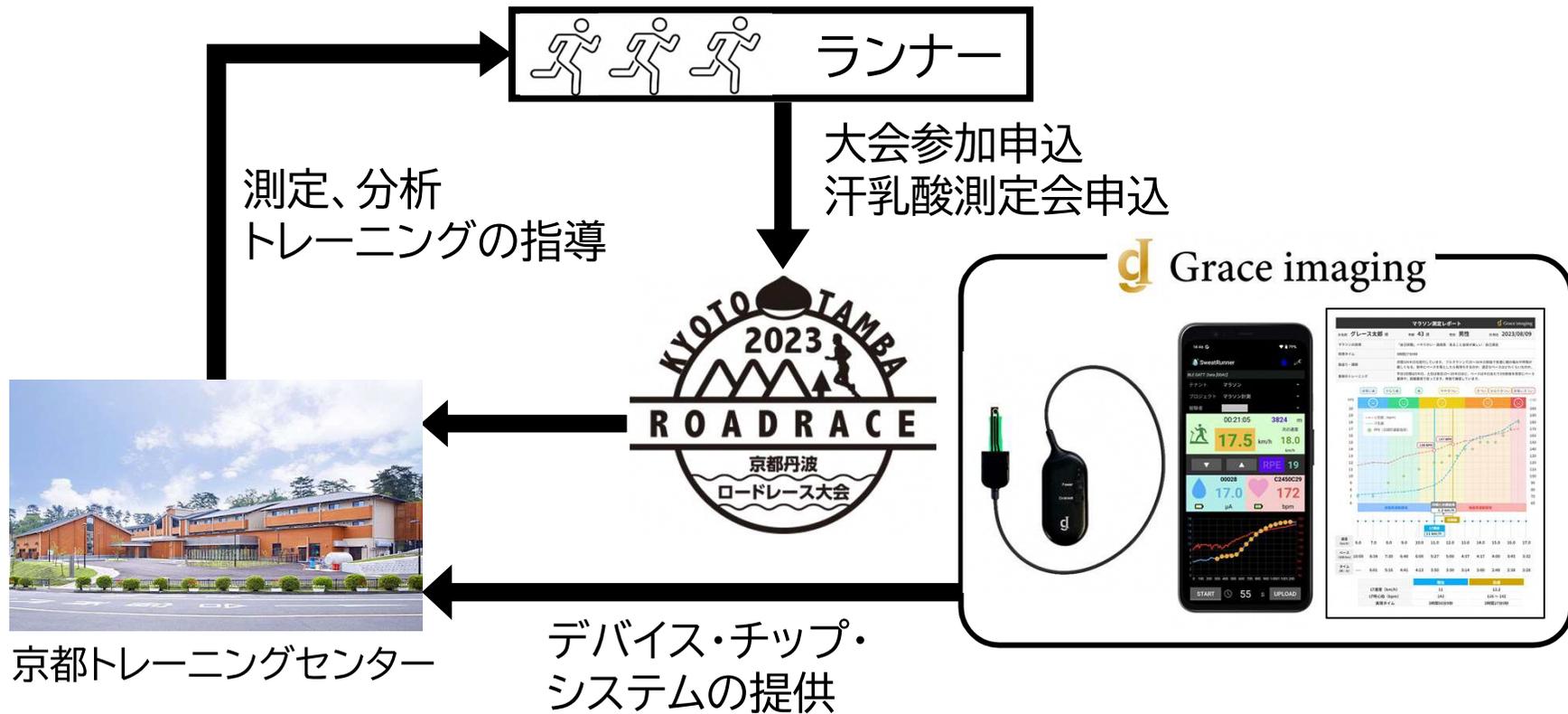
# 【株式会社グレースイメージング】 自己ベスト更新特別サポートプログラム:京都府モデル(案)



京都府

課題とニーズ:参加者の増加と持続可能な大会運営

求めている解決策:  
参加者に寄り添ったランナーの満足度を高めるサポートプログラム



さいたまマラソン(さいたま市)の地域共創事例をベースに京都府オリジナルのサービスを構築していく

## 【企画案2】（運動非関心層向け）

### 京都丹波ロードレース大会にあわせて

### “誰でも” “楽しみながら” 運動できるイベントを同時開催

#### 【目的】

- ✓ 運動にあまり馴染みがない方にも、体を動かすことに興味を持っていただきたい。
- ✓ 丹波自然運動公園にお越しの方に、京都トレーニングセンターをよく知っていただきたい。

#### 【概要】

##### 京都トレーニングセンター ファミリースポーツコーナー（仮称）

- ・ 多種多様なスポーツを気軽に体験できるコーナーを用意
- ・ 「垂直飛び」など簡単な運動テストと、ワンポイントアドバイス  
さらに、数か月後に再チャレンジすると、景品ゲット！

#### ＜活用する（したい）技術・機能＞

- ユニバーサルスポーツ等のミニイベント運営 [チームキノウ]
- 「体を動かすコツ」をわかりやすく伝える指導法

#### 【効果検証課題】

- ✓ 「丹波公園まつり」を目的とした来場者に運動のきっかけづくりがどの程度できたか
- ✓ 「ワンポイントアドバイス」+「再チャレンジ」企画が、運動習慣づくりに貢献できたか etc..

# ディスカッション

～16:00

1. 本日の内容に関連する御社技術や事例をご紹介ください。  
※簡潔な説明に御協力をお願いします。
2. 京都トレーニングセンターをはじめ他社との連携や、  
新サービス開発のアイデア

keyword: 京都丹波ロードレース  
スポーツ、ウェルネス、フードテック  
オープンイノベーション、データベース

例えば

- ・京都府内での実証事業の提案、可能性
- ・女性の健康寿命延伸や運動習慣づくりに繋がるサービス、製品
- ・どのような運動・健康データを蓄積できると良いか（活用したいか）

etc...

# 参考

- 1 実証フィールドになり得る場  
(キッズスポーツフェスタ@京都スタジアム)
- 2 事業成果の発表や他社連携の機会  
(IVS、ヘルス博)



**開催日時：2023年 9月30日（土） 10:15～16:00 小雨決行**  
**開催場所：サンガスタジアム by KYOCERA**

### ○開催目的

プロチーム選手等による各スポーツ種目の体験を通じて、小学生以下の子どもたちにスポーツを身近に感じてもらうためのイベント。  
 小学生向けの関連イベントも充実。

### ○開催結果

種目数12  
 体験者延べ4,000人以上  
 体験の満足度は90%以上  
 スポーツをやりたいと感じた80%以上

## スポーツ体験種目

体験参加・観覧 無料

**事前申込制** 事前申込マークのあるものは申込が必要です。(応募多数の場合は抽選/結果はメールにてお知らせします)

### 事前お申込み

**申込期間：2023年 9月1日(金) 10:00 ～ 9月11日(月) 23:59**

対象者 京都府内在住の小学1～6年生(要保護者同伴)  
 申込方法 「事前申込制」ボタンよりお申し込みください

※複数の種目に応募する場合、1種目ごとの申込が必要です。  
 ※ご希望の参加時間をお選びいただくことはできません(種目により開催時間が異なります)。結果配信時に参加時間をお知らせいたしますので、予めご了承ください。  
 ※本イベントに際し保険には加入しておりますがご心配な方は個人でご加入いただけますようお願いいたします。  
 ※内容は急遽変更になる場合がございます。

©KYOTO.PS. 京都サンガF.C.

#### サッカー

京都サンガF.C. HP >

J1リーグ「京都サンガF.C.」のプロのコーチによるサッカー教室を開催します。

**事前申込制**

京都ハンナリーズ

#### バスケットボール

京都ハンナリーズHP >

Bリーグ「京都ハンナリーズ」の育成コーチによる、キッズ向けバスケットボールクリニックを開催します。

**事前申込制**

花園近鉄ライナーズ

#### ラグビー

花園近鉄ライナーズ HP >

花園近鉄ライナーズ所属でラグビー元日本代表のタウファ統悦コーチと一緒にラグビーを体験しよう。

**事前申込制**

BODY CARNIVAL

#### ブレイクダンス (アーバンスポーツ)

BODY CARNIVAL HP >

京都拠点のプロブレイクダンスチーム「BODY CARNIVAL」の選手・インストラクターと一緒に踊ろう!

**事前申込制**

# 会場案内 1F



亀岡高ラグビー部の部員たちにリフトされ、ラインアウト時のプレーを体験する小学生（京都府亀岡市・サンガスタジアム京セラ）



## ウェルネスゲーム体験

どなたでも自由に体験いただけます！  
 時間：10:30～16:00  
 場所：2F 外廊コンコース



京都トレーニングセンター

## 体力測定会

京都トレーニングセンターによる体力測定会を開催！  
 「全身反応」「20m走」など、カラダを素早く動かす力や走る力、跳ぶ力などを測定します。自分の特徴を知って自分に向いているスポーツを知ろう!!

時間：10:30～16:00  
 場所：スタジアム内 内部コンコース（東側）

※様々な測定を予定しております。スタッフの指示に従い測定を行ってください。

# IVS2024 KYOTO 開催概要



## IVSとは

起業家、投資家、研究者、技術者、事業会社の新規事業担当者等が一堂に集い、直接交渉による投資・協業先・人材等の獲得や、各分野の最新動向の把握と、多様な人材の交流を契機とした新ビジネス創出を促進する、日本最大級の国際スタートアップ・カンファレンス。

## 去年の実績

参加者数10,000名（うち海外2,000名）  
パネルセッション250以上、サイドイベント150以上

## 今年のテーマ

### “Cross Boundaries”

IVS2024 KYOTOでは、日本の古き良き伝統が最先端のイノベーションと融合し、国際的な対話の火を灯します。

"Cross Boundaries"を旗印に、地元の創造性が世界の新しい視点と出会います。

## 開催場所

京都パルスプラザ（京都府総合見本市会館）

## 開催日時

2024年7月4日（木）から6日（土）まで

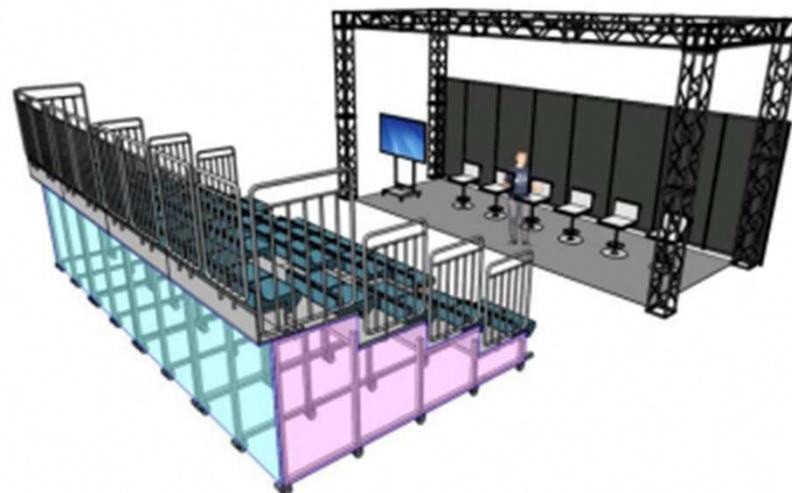
## 主催

IVS KYOTO実行委員会（Headline Japan・IVC / 京都府 / 京都市）

<https://www.ivs.events/ja/2024>

# 京都府主催セッション 2024.7.4 (予定)

暫定イメージ



## 【テーマ】

「ジェンダードイノベーションの視点から  
スポーツとウェルネスを考える」

## 【概要】

ジェンダードイノベーションの視点から、性別による体格や身体の構造と機能の違いや加齢に伴う変化などに着目した技術・商品開発により、「社会全体のQOLをいかにして高めていくのか」について議論



主催	京都府
目的	<p>京都府では、府民の健康寿命延伸を図るため、健康課題の解決に向けた産学公連携等による事業を推進しています。</p> <p>企業、大学、行政、医療保険者等が一堂に会した場において、<u>健康づくりをテーマにした先駆的で効果的な取組の紹介や企業ノウハウの提供などを通じて、多様な主体のマッチングを図り、オール京都による府民の健康寿命の延伸を図る取組を推進するために、「ヘルス博 KYOTO 2023」を開催</u></p>

内容	<p>モデルセミナー：市町村・企業・大学による健康をテーマにした取組事例の発表  PRブース：出展団体によるPR  体験コーナー：府民参加による健康づくり体験</p>
----	---

- 開催結果 (R5開催)
  - 出展 30団体、来場者数 472名 (うち企業・大学・自治体等284名、一般188名)
  - マッチング件数 42件